

16.07.23中央地区(市役所)

発言者・団体	意見タイトル	意見要約
A	中学校給食	6月29日の市議会本会議で中学校給食の陳情が採択されたが、計画案には給食ではなく「昼食」となっており、採択されたものと違うのではないかと。採択されたのはあくまでも選択性の給食である。
B		中学校給食については、セカンドスクールなどを含め全体として考えて欲しい。選択性であれば、給食でバラエティに富んだ食事ができるのではないかと。また、今回の陳情では、親の負担ではなく、子どもの栄養バランスを重視しており、論点がずれている気がする。
C	まちづくり 環境美化	たばこのポイ捨てなどを清掃の面にとらえるだけではなく、元を断つことを考えなければならない。まちの美化意識、住民の意識改革が必要と考える。まちづくり、環境美化ということについて、市民意識を変えていくことに今後取り組んでいただきたい。
	計画スケジュール	展望計画は別として、5年の実施計画くらいは、具体的な各論についてスケジュールが必要である。
	コミュニティ活性化 市民パートナーシップ	コミュニティの活性化には、コミュニティセンターという館からまちに出て、まちづくり、福祉、教育が必要なのではないかと。
D	障害児施策	今後は地域子ども館、学童クラブのあり方を検討するという箇所について、施策を検討するのではなく、実施するという文言にし、どんなことがあっても住み続けられる武蔵野市をつくってもらいたい。
E	障害児	障害をもっている子どもが気兼ねなく行ける学校にしてほしい。「計画案」では、障害児に関する内容は、わかりにくくなっているが、どこかに障害をもった子どもも含めた全児童対策の充実といった言葉を入れてほしい。
F	障害者(児)	21世紀は水の世紀だと言われている。今後、水あるいは水質をどう良くしていくかということを考えれば、合流式の下水道を分流式に改善することなどを議論してもらいたい。
G	学童クラブの入所条件	武蔵野市の学童クラブに、市外の学校へ通う児童、4・5年生までの障害児が入れるようにしてほしい。
H		障害児が学童クラブに入れなかったと記載するべきだ。
I	高齢者	この計画が終わる頃には、4人に1人が高齢者となるが、それを前提に書くべきだ。在宅介護支援センターについては高齢者の声を拾い上げて支援する体制としてほしい。相談・支援は市が行う一番大切なことだ。介護予防も、地域を固めるセンターとして在宅介護支援センターが中心となってほしい。

発言者・団体	意見タイトル	意見要約
I	救急医療体制	365日24時間フォローする態勢がなければ住んでいられない。夜中でも緊急的に医師や看護師が来てくれる体制をつくるべきだ。
	パートナーシップ	農水省跡地は、あまりお金をかけない使い道を考えてほしい。ここを利用し、環境問題や緑の問題に先駆けて取り組んでもらいたい。
J	市民活動の評価と施策の優先順位	市民が行っている活動を、それが本当に効果のある良い方法か、役立っているかを評価する機会を計画に入れてほしい。福祉施設も絶対数が足りなければ選択の余地がない。絶対数の足りないものを先にやり、ゆとりの部分は後に待ってもらいたい。
K	外かく環状道路	抽象的な書き方をしているが、住民の意思を尊重するということを書き込んでほしい。
	公会堂	公会堂を改修し、社会教育施設としてほしい。
	市民会館	簡単に社会教育施設を捨ててしまってもよいのか。市民参加には市民が自ら学習し、それを行政がサポートすることが大事だ。
	事業評価	0123、ムーバス、セカンドスクールなど、市外から評価されていることについても、きちんと評価してほしい。